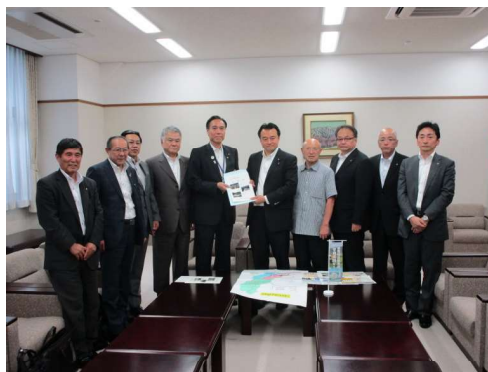


5 持続可能な社会基盤を整備する

(1) 広域交通基盤の整備・強化

<主な取組状況>

- 平成 30 年度開通見込みの**三遠南信自動車道** 佐久間 I C（仮称）～東栄 I C（仮称）間において、この区間で最長となる佐久間第一トンネル（仮称）が貫通したほか、東栄 I C（仮称）～鳳来峡 I C 間においても用地取得や、トンネル及び橋梁などの工事が発注されるなど、国土交通省により事業の進捗が図られた。三遠南信道路建設促進期成同盟会（愛知県は副会長）が平成 28 年 7 月 27 日及び 12 月 12 日に**整備促進に係る要望活動**を行った。



7 月 27 日（財務省 大岡財務大臣政務官）

- **国道 151 号（新城バイパス等）, 257 号（設楽町・バイパス整備等）, 301 号（松平バイパス等）, 420 号（設楽町・拡幅工事等）, 473 号（豊田市・拡幅工事等）**を中心に整備を行った。
- 東三河地域の山間地域を南北に縦断し、新城市と設楽町を結ぶ主要幹線道路となる、**主要地方道長篠東栄線**（愛知県新城市海老地内）の整備を行った。



整備中の長篠東栄線（新城市海老）

(2) 公共交通の確保・充実

<主な取組状況>

- 三河山間地域における**路線バス**等を運行する市町村に対して、その運行に要する**経費の一部を補助**することで、交通基盤の確保・維持に努めた。
- JR 東海に対して、I Cカード乗車券の未導入区間の解消に努めるとともに、北設楽地域の玄関口である東栄駅への特急列車の停車を実施することや、サイクルトレインの試験導入や各種イベントを通じた**魅力ある沿線の地域づくり**への協力について積極的に取り組むよう要望した。

(3) 情報通信基盤の拡充とICTの利活用

<主な取組状況>

- 県内にある交通、宿泊施設、観光・防災拠点等へ**無料公衆無線 LAN 整備**の働きかけを行い、インターネットへ接続できるアクセスポイントを増やすことで、情報通信サービスの充実等を目的とした整備促進活動を実施した。
- **携帯電話基地局の整備**について、採算性の問題から民間事業者の進出が進まない地区（新城市 一色区、門谷区）に対して、不感地域を解消するため、財政面を含めた支援を行った。



携帯電話基地局
(新城市一色地区)

- へき地医療拠点病院がへき地診療所の診療活動等を援助することを目的に設置した、**へき地医療拠点病院とへき地診療所**を繋ぐ**伝送装置**の運用に係る経費の助成を行った。
- 新城市において、**野生獣自動捕獲システム**（捕獲檻の周辺をセンサーが確認し、群れ全体が檻に入ってからゲートを閉めるシステム）の実証を行った。

(4) 農地・森林等の整備・保全

<主な取組状況>

- 豊田市（旧旭町、旧藤岡町）、新城市（旧作手村）及び設楽町の2市1町において、中山間地域の農地の生産性向上を図るため、**農業用水利施設の整備**を行った。



農地環境整備事業 敷島地区

（豊田市：旧旭町）の農業水利施設
（用水路及び排水路）の整備状況

- **設楽ダムの水源地域の振興**を図るため、設楽町が実施する生活基盤整備等に係る事業への支援を行った。
- 植栽や間伐など適切な森林整備を実施した。
- **森林整備**に必要な**技術者の養成**を実施した。

(5) 産業用地開発と立地促進

<主な取組状況>

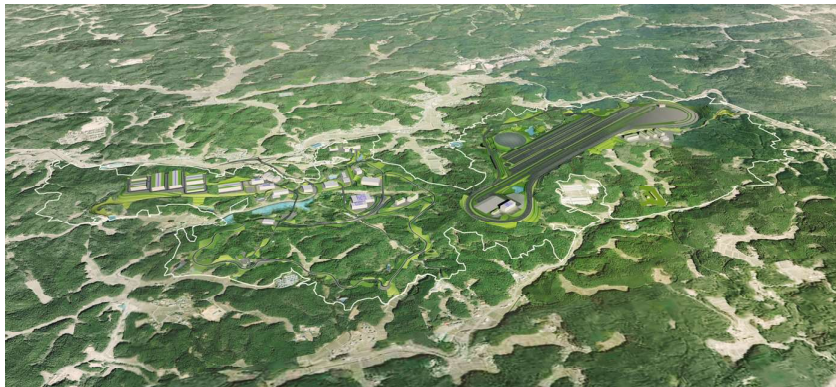
- 企業立地推進活動の一環として、東京や大阪において、首都圏・関西圏の企業を対象とした「**産業立地セミナー**」を開催した。

また、県内においても、県内企業を対象とした「産業立地キャラバン」、「産業立地・再投資促進セミナー」等の**企業誘致説明会**を開催することで、広く本県の立地環境や優遇施策等についてPRを実施した。



産業立地セミナー2016 IN 東京

- **豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業**の推進を図った。



「豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業」完成予想図

(6) 防災・減災対策の推進

<主な取組状況>

- 新城市や豊田市などの**農業用ため池** 8か所において**耐震整備**を実施し、このうち植田の池（新城市）については、耐震整備が完了した。



耐震整備が完了した植田の池（新城市）

- 豊田市や豊根村などで**土砂災害防止施設整備**を実施し、このうち平成28年度は、石原沢（豊根村）など3か所について施設整備が概成した。



施設整備が概成した石原沢（豊根村）

- 市町村における**避難勧告等の基準**づくりや見直し作業、また、避難勧告等をはじめとした防災対応の判断基準となる防災気象情報等の活用支援のため**講習会**を実施した。



防災気象情報に関する講習会

(愛知県災害情報センター：【第1回】5月31日、6月2日【第2回】7月27日)

- **土砂災害防止法**に基づく基礎調査結果の**地元説明会**の開催方法について、大規模公共事業等で採用される「**オープンハウス方式**」を導入し、周知・説明のスピードアップと住民の様々な疑問や相談に丁寧に応えていくことの両立を図っている。平成28年度は、豊田市ほか5市町で15回開催した。



「豊田市足助地区地元説明会」

(豊田市足助交流館：12月4日)



「豊田市足助地区地元説明会」

(豊田市足助交流館：12月4日)

- 災害発生を想定し傷病者搬送をイメージした**山間部における離着陸訓練**を実施した。また、**防災訓練**等を通じて、各市町村の地域住民に**防災ヘリコプター**から広報活動を実施し、防災に対する意識向上に努めた。



離着陸訓練（設楽町 田口ヘリポート）

- 大規模災害後の迅速な復旧・復興に備え、**地籍調査**に取り組む市町に対して豊田市と設楽町には財政的支援、新城市には情報提供や関係機関との調整などの支援を行った。

(7) 再生可能エネルギーの導入推進

<主な取組状況>

- 「産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会」を開催し、**農業用水を利用した小水力発電の推進**方策の検討や技術支援を行った。

- 豊田市羽布町にある羽布ダムにおいて、農業用水を利用した小水力発電施設として県内最大規模を誇る**羽布ダム小水力発電所**が完成し、12月1日より発電を開始した。



羽布ダム小水力発電所



羽布ダム小水力発電所起動式
(10月10日、羽布ダム)

- 県内の事業者に対して、循環型社会形成推進事業費補助金等による**未利用資源の活用**を促した。

- 防災拠点、避難所への**再生可能エネルギー等の導入**支援を行った。

【新城市】

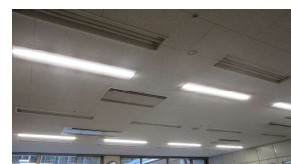
- 虹の郷（作手高齢者生活福祉センター）

〈導入設備〉

太陽光発電設備	20.67kW
蓄電池	16.9kWh
高効率照明	32灯



太陽光発電設備



高効率照明

- 鳳来中学校

〈導入設備〉

太陽光発電設備	17.225kW
蓄電池	16.9kWh
高効率照明	19灯



太陽光発電設備



蓄電池

【東栄町】

- 食生活支援センター

〈導入設備〉

太陽光発電設備	10.1kW
蓄電池	15kWh



太陽光発電設備



蓄電池

あいち山村振興ビジョン 2020 年次レポート(平成 29 年度版)

平成 29 年 10 月

愛 知 県

山村振興推進本部（振興部地域政策課山村振興室）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-954-6097（ダイヤルイン）

ファクシミリ 052-954-6906

電子メール sanson@pref.aichi.lg.jp

URL <http://www.pref.aichi.jp/chiiki/sanson/>